



			表、ソフトウェア制作などの表現力を身につけている。	化し、学びに向かって意欲的に取り組む力や人間性を身につけている。
評価方法		定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲 課題などの取り組む姿勢

## 単元別 評価規準

### 第1章 ソフトウェアの基礎

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	ソフトウェアの分類方法を説明し、システムソフトウェア・プログラミングツール・アプリケーションソフトウェアの違いを理解させ、それぞれどのようなソフトウェアが含まれるかを理解させる。	ハードウェアとソフトウェアの概略を説明し、それぞれの役割と範囲を理解させる。	コンピュータシステムの処理形態や利用形態にはどのようなものがあるか理解させ、それぞれの特徴を理解させる。
	習得する (わかる)	プログラミングツールについては、プログラム言語の種類や、言語プロセッサの種類と働きを理解させる。	プログラミングツールについては、プログラム言語の種類や、言語プロセッサの種類と働きを理解させる。	最新のコンピュータシステムに興味をもたせる

### 第2章 オペレーティングシステム

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価基準	活用できる (できる)	OS の中核となる制御プログラムの機能を理解させる。	ネットワーク管理・運用管理・障害管理などに必要なOSの機能についても理解させる。	メモリ管理の種類と方法を理解させる。 実記憶管理にくわえて、とくに、現在主流の方法である仮想記憶管理について理解を深める。
	習得する (わかる)	ジョブとプロセスの違いを理解させ、ジョブ管理・プロセス管理の目的を理解させる。	プログラム開発支援の方法を理解させる。 操作性や互換性の向上の意義を理解させる。	資源の有効活用とは何か理解させる。 パフォーマンスの向上の必要性を理解させる。 RASIS が何を意味しているかを理解させる。

### 第3章 オペレーティングシステムの管理

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価基準	活用できる (できる)	サーバの種類と働きを理解させる。 ネットワークセキュリティの基本であるファイアウォールなどについて理解させる。	周辺装置を使えるようにし、正しいOSの起動・終了を理解させる。	OS のインストールと初期設定の方法を理解させ、実際に行えるようにする。
	習得する (わかる)	コンピュータシステムを構成するハードウェアについて理解させる。	セキュリティの基本である、OS・ソフトウェアのアップデート、アクセス管理、暗号化制御について基本を理解させる。	障害が生じたとき、障害情報の収集を行い、障害回復するための方法を理解させる。

### 第4章 ソフトウェアの制作

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価基準	活用できる (できる)	情報セキュリティの基本的な概念を理解させる。	マルウェアの感染経路とセキュリティ対策の方法について理解させ、実際に対	ソフトウェアの権利と法的保護について説明し、ソフトウェアがなぜ保護され

		情報セキュリティがなぜ必要であるかを、情報資産という観点から理解させる。	応できるようにする。	る必要があるのかを理解させ、ソフトウェアに対する倫理観や価値観を育成する。
	習得する (わかる)	情報セキュリティの基本的な概念を理解させる。	ソフトウェアの使用許諾契約など、ソフトウェアを実際に使用するさいの法的規制を理解させる。	情報セキュリティ関連制度や標準化規格について確認させる。

## 第5章 ソフトウェアの制作

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価基準	活用できる (できる)	ソフトウェア開発に必要な企画や設計など、ソフトウェア開発の基礎を理解させる。	問題点や課題の解決方法としてのソフトウェア開発の手法について理解させる	構造化プログラミングとオブジェクト指向プログラミングの概要と、これらに必要な図による表現手法について理解させる。
	習得する (わかる)	パーソナルコンピュータアプリケーションの開発環境やプログラミング作成の技術を理解させる。	スマートフォンアプリケーションの開発環境やプログラミング作成の技術を理解させる。	Web アプリケーションのプログラミング作成の技術を理解させる。